

ばいばいあ社会体験活動：--さいたま市立漫画会館へGO!--

ギャグ漫画の殿堂 「赤塚不二夫展」を観に行くのだ！

2017年11月8日(水)

「赤塚不二夫」と言われても、デビューが昭和30年代の漫画家だから、知らない人が多いかもしれない。でも、「おそ松くん」「もーれつア太郎」「天才バカボン」「レッツラゴン」などの漫画の作者ですよ、タモリの師匠さんとも言える人ですよ、「ギャグ漫画の王様」ですよと言えば、たぶん分かってくれる人は結構多いのではないだろうか。

何よりも、この人の作品を一回でも目にしたことのある人なら、木石のコンコンチキ(意味分かるかな?)でもない限り、おそらく分かるはずである。今に通じる戦後ギャグ芸の原点はこの人に始まると言っているのだ(天才バカボンのパパの口調！)。

それに、今回は、大宮の盆栽町の中にある漫画会館での開催とある。この「漫画会館」の建つところは、明治・大正・昭和の三代に渡って新聞の挿絵画家として活躍した北沢楽天のゆかりの地である。日本で初めて「漫画」という言葉を使って政治や世相を風刺した人である。(北沢楽天については、別の項で改めて紹介したい)

北沢楽天は一コマの時事風刺漫画、赤塚不二夫はストーリー中心の独特のギャグ漫画という違いはあるが、この二人に共通して流れているのは極めて健全な風刺の精神である。

今回、赤塚不二夫展を観るときも、独特のキャラクターやそこに展開される世界観を通して、理屈抜きで楽しむと同時に、その破天荒なギャグの底流にある地味豊かな人のやさしさや温かさに触れてほしい。

今回、数々のヒット作や代表作が紹介されるだけでなく、その原画も展示されるという。ギャグや風刺を楽しみながら、そこに流れる人情にも触れてほしいと思う。



- 集合場所:2017年11月8日(水)13:00(時間厳守) JR大宮駅(豆の木・待合場所) → 東武アーバンパークライン大宮公園駅下車(片道150円)～徒歩5分～漫画会館
 - さいたま市立漫画会館(さいたま市北区盆栽町150)(048-667-4921)
 - 持ち物:ハンカチ・ちり紙・水筒・おやつ・メモ帳・筆記用具(お小遣い、おやつ代は各自)
- ※時間が許せば、「盆栽会館」も見学の予定です。